

- ・ PPEは、使用毎に行う通常の点検に加えて、定期的に適任者による詳細点検を受ける必要があります。ペツルは製品の使用期間を通し、12 ヶ月ごとの点検および特殊な状況での使用後の点検を行うことをお勧めします。
 - ・ PPEの点検は、メーカー指定の点検方法に従って行ってください。
- 点検に関する資料はペツルのウェブサイト PETZL.COM からダウンロードできます。

パルス / コール パルス



1. 製品履歴の把握

異常な劣化が認められる PPE は、詳細点検を受けるまで隔離する必要があります。

ユーザーは以下の事を行う必要があります:

- 使用状況に関する正確な情報を記録する
- PPE に生じた特殊な事象を全て記録する

(例: 用具の落下、墜落を止めた、極端な高/低温下での使用または保管、メーカー施設外での改造等)

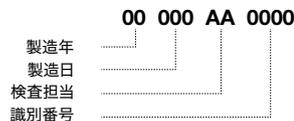


2. 予備的観察

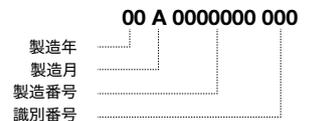
個別番号と CE マークが付いていることおよび判読できることを確認してください。

備考: 製品記載の個別番号のコード体系は変更されています。コード体系は2種類あります。それぞれのコード体系は以下を参照してください。

コード A:



コード B:



耐用年数が過ぎていることを確認してください。

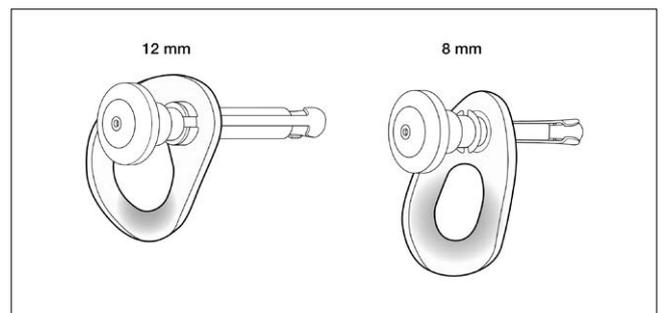
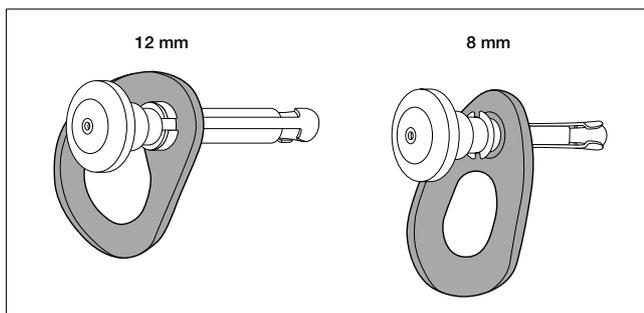
新しい状態にある同一製品と比較して、改造が施されていないことおよびパーツが欠損していないことを確認してください。

備考: コード B の製造月は1文字のアルファベットで表記されています。A = 1月、B = 2月、C = 3月等

3. ハンガーの点検

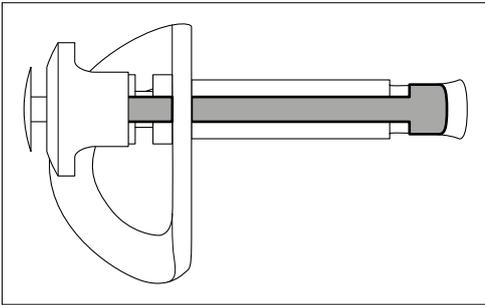
- ・ ハンガーの状態 (傷、変形、ひび、腐食など) を確認してください。

- ・ アタッチメントホールの状態を確認してください: 変形やハンガーに通すスリングを損傷させるような鋭い角がないこと。



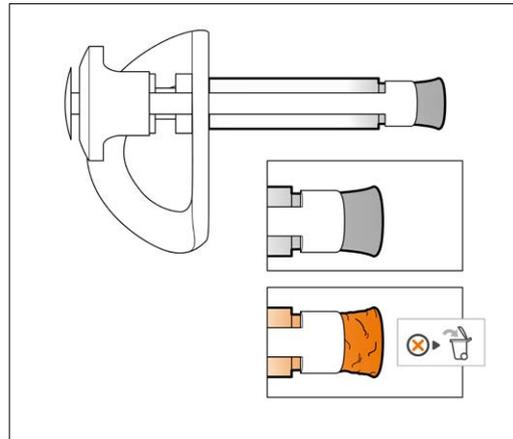
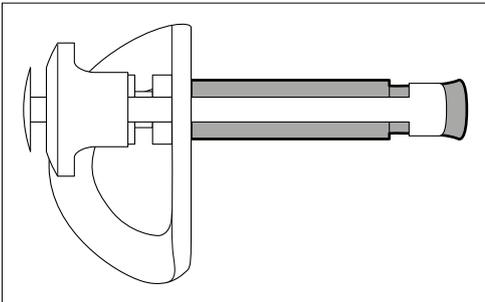
4. シャフトおよび可動式ウェッジプレートの点検

・ウェッジプレートの状態 (傷、変形、ひび、腐食、摩耗等) を確認してください。
 ウェッジプレートの裏に砂や汚れが付着していないことを確認してください。
 必要に応じて洗浄してください。



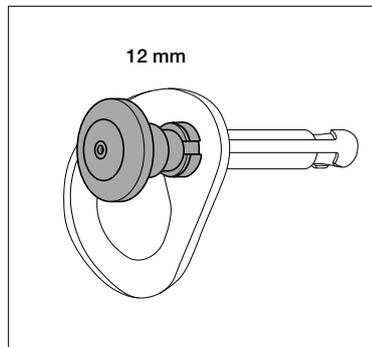
・ウェッジコーンの状態 (傷、変形、ひび、腐食など) を確認してください。

・シャフトの状態 (傷、変形、ひび、腐食など) を確認してください。

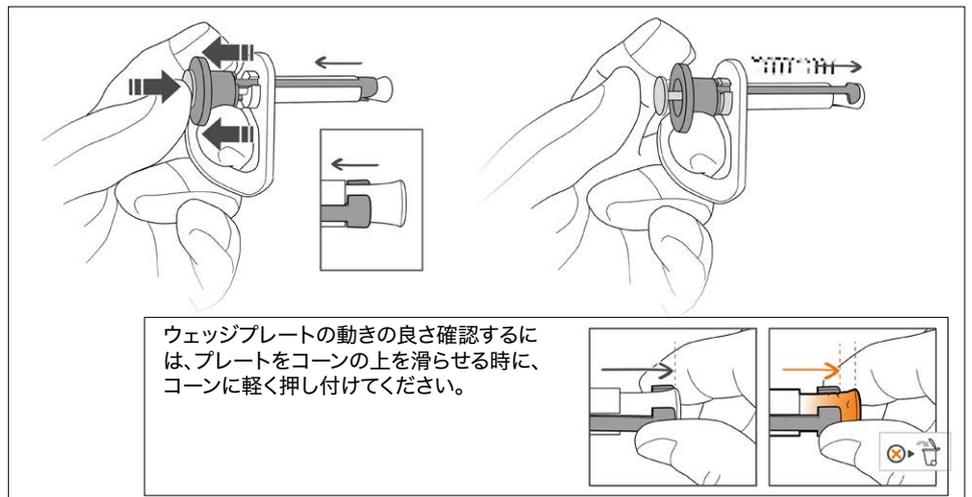


5. リリース用プランジャーの点検

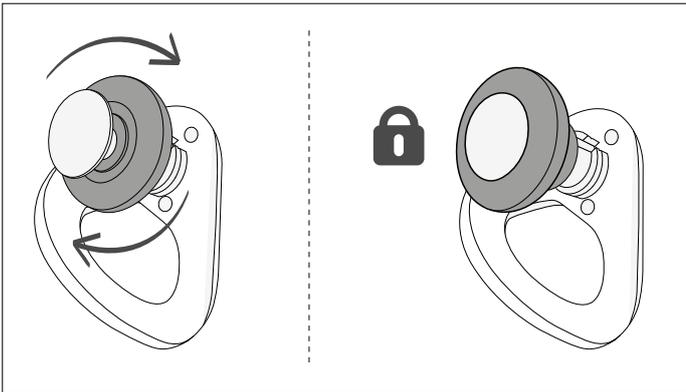
・プランジャーの状態 (傷、変形、ひび、腐食など) およびロック機能を確認してください。



・リリース機能を確認してください: プランジャーを引いて、可動ウェッジプレートが適切にスライドすることを確認してください。プランジャーを放した際のスプリングの戻りを確認してください。特に、可動ウェッジプレートがウェッジコーン上をスムーズ且つ適切にスライドすることを確認してください。

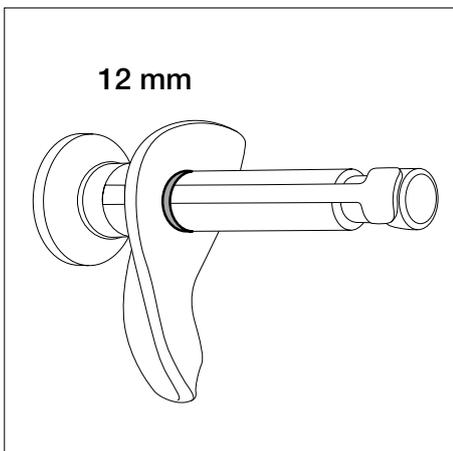


- ・ プランジャーがロックすることを確認してください。



6.ハンガーとシャフトの接続箇所の点検

- ・ Oリングがあることを確認してください。



補足情報: 点検中に確認すべき一般的な症状の例

・ ウェッジプレートがコーンから離れている



・ 曲がったウェッジプレート



・ ウェッジコーンの傷



・ ウェッジコーンの傷



・ ウェッジコーンの傷



・ 曲がったプランジャー



・ 傷つき変形したプランジャー



・ 傷ついたシャフトと損傷したウェッジプレート

